

議 事 録

件 名	セーフコミュニティ 防災対策委員会 第28回会議（令和5年度第1回）
日 時	令和5年4月27日（木）16:00～17:05
場 所	久留米市役所 3階301議室
出 席 者	委員：古賀委員長（久留米市まちづくり連絡協議会） 矢野副委員長（福岡県防災士ネットワーク久留米支部） 諸永委員（久留米市民生委員児童委員協議会） 中野委員（久留米警察署） 高木委員（久留米市消防団） 漆原委員（久留米市社会福祉協議会） 中村委員（久留米広域消防本部） 藤原委員（健康福祉部地域福祉課） 佐野委員（総務部防災対策課） 計9名 事務局 防災対策課：湯口補佐、和合主査 地域福祉課：中河原主査 安全安心推進課：豊福主幹、岡補佐、古賀
欠 席 者	なし
傍 聴 者	なし
次 第	1. 開 会 2. 報告事項 （1）令和5年度の主なスケジュールについて （2）合同対策委員会について 3. 協議事項 （1）2022(令和4)年度実績及び2023(令和5)年度方針（案）について （2）3回目の認証取得に向けた本審査について ①現地審査スケジュール・活動視察 ②申請書 ③プレゼン資料 4. その他 事務局からお知らせ 5. 閉 会

議 事 録

進行：事務局	
議長：委員長	1．開　会
	2．報告事項 （１）令和５年度の主なスケジュールについて 質問・意見等なし （２）合同対策委員会について
委員①	さきほどの説明の中に、セーフコミュニティの認知度が 23%という話があった。防災対策委員会とは別に校区まちづくり連絡協議会の中に防災対策検討委員会という組織がある。そこで、防災リーダーの養成を行っており、４年間で 300 人弱の受講者がいる。市全体で約 650 ぐらいの自治会有り、最終的には全ての自治会に防災リーダーを養成したいと考えている。今、300 人のあと 4 年間続けると 600 人近くなるが、受講者もかなり高齢者になってくる。これを継続して個人や団体に認知してもらうことが大切だと思う。 セーフコミュニティのバッジもあるが、普通の人にはわかりづらいので、分かりやすいようにアイデアを出していけないといけない。今後、認知度も 23% を最低でも 50% に持って行きたい。
	3．協議事項 （１）2022(令和 4)年度実績及び 2023」(令和 5)年度方針（案）について
委員②	説明の中に、出前講座という言葉があっただが、税金や道路など市民の方への関心が高い様々な分野で 100 数十種類のメニューを準備して、校区や自治会、集会へ出向いて説明が上がっている。最近では、防災への備えや避難が難しい方への支援のあり方に関する講座への依頼が、年間 100 件を超えるような年もあり、市民のニーズも高くなっている。

委員①	出前講座は、2020 年ぐらいからコロナの影響で非常に少なくなっている。各校区でも、少人数で図上訓練を実施したりしていたが、今年度は講座回数も増えるのではと期待している。 3 年間、人が集まる機会がほとんどなかったので、実際、動かないといけない時にきちんと動けるように防災士や防災リーダーさんの活躍を期待している。 それから、民生委員もこの3 年間活動しづらい状況だったが、必ず必要なことなので、今後の活動を期待したい。 (2) 3 回目の認証取得に向けた本審査について ①現地審査スケジュール・活動視察 ②申請書 ③プレゼン資料
委員②	補足になるが、前回の事前審査は委員長にプレゼンの説明をしていただいたが、7 月 31 日の本審査時には、本番前に委員会を一度開催してから本番に臨むこととなる。 委員の皆様には審査員の視点の違った興味深い話も聞けるので、ぜひ出席をお願いしたい。
委員①	事務局から説明のあった外国人への情報伝達だが、北野周辺にも約 500 人の外国人労働者がいる。旅行者は時期によって違うかもしれないが、久留米市には約 5,000 人の外国人の方がいる。日本人だけがわかるものではないと審査員の先生からも指摘があったので、資料を追加した。 「備えあれば憂いなし」という言葉があるが、想像以上の準備が必要になって大変だが、よろしくをお願いしたい。 4. その他 防災チャットボット・福岡県防災アプリ「まもるくん」について説明 5. 閉 会